

平成28年度

「運営に関する計画・自己評価
(最終評価)」

大阪市立西野田幼稚園

平成29年3月

(様式1)

大阪市立西野田幼稚園 平成28年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 園運営の中期目標

現状と課題

○4クラス133名の幼児が在籍し、さまざまな遊びを友達と一緒に楽しんでいる。しかし、気の合う友達や先生など特定の人とのかかわりが多く、かかわりの幅が広がりにくい子どももいる。25年度より、異年齢交流保育に取り組み、成果をあげている。学級減に伴い、交流計画や取り組み方法を再構築する必要がある。

○さまざまな人とかかわりを、さらに広げていく取り組みを充実させていく。

○防災・安全教育の推進をさらに進め、子どもも大人も生命を守る意識の向上を図っていく。

中期目標

【視点 学力の基礎の向上】

○毎学期の子どもへの聞き取りやチェックリストで、幼稚園の遊びの交流活動「なかよし集会(全園児の集会遊び)」「なかよしタイム(同年齢の交流遊び)」「すくすくタイム(異年齢の遊び)」の取り組みが楽しかったという割合を毎年、80%以上にする。

(カリキュラム改革関連)

○年度末の保護者アンケートで、「幼稚園の遊びや生活の中で、多様な人とかかわる機会が多くあった」という項目で「あてはまる・どちらかというにあてはまる」と回答する割合を毎年、80%以上にする。

(カリキュラム改革関連)

○年度末の保護者アンケートで、「お子さんは、入園・進級当初よりも様々な人とかかわって楽しく遊んでいると思う」という項目で「あてはまる・どちらかというにあてはまる」と回答する割合を毎年、80%以上にする。

(カリキュラム改革関連)

○教職員は、人とかかわる力の育成につながる遊びの環境や指導の工夫に努め、自己評価の達成度を毎年、80%以上にする。

(マネジメント改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

○保護者アンケートで、防災・安全教育の次の項目について「あてはまる・どちらかというにあてはまる」という割合を、毎年、前年度より向上させる。

- ・お子さんは、生命を守るためにどのように行動すればよいか関心をもつようになった。
- ・保護者の方は、防災・安全教育について関心をもつようになった。

(カリキュラム改革関連)

○保護者アンケートで、次の項目について「あてはまる・どちらかというにあてはまる」という割合を、毎年、前年度より向上させる。

- ・お子さんは、幼稚園のきまりを守っている。
- ・あいさつを進んでしている。
- ・幼稚園にはいろいろな思いの友達がいることを理解し、認め合おうとしている。

(カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

○保護者アンケートで、次の項目について「あてはまる・どちらかというにあてはまる」という割合を、毎年、年度当初よりも増加させる。

- ・幼児期に大切な生活習慣が身についている。
- ・体を動かす遊びが好きである。

(カリキュラム改革関連)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の基礎の向上】

○毎学期の子どもへの聞き取りやチェックリストで、幼稚園の遊びの交流活動「なかよし集会（全園児の集会遊び）」「なかよしタイム（同年齢の交流遊び）」「すくすくタイム（異年齢の遊び）」の取り組みが楽しかったという割合を、2月末には90%以上にする。

(カリキュラム改革関連)

○保護者アンケートで、「幼稚園の遊びや生活の中には、多様な人とかかわる機会が多くあった」という項目で「あてはまる・どちらかというにあてはまる」と回答する割合を90%以上にする。

(カリキュラム改革関連)

○年度末の保護者アンケートで、「お子さんは、入園・進級当初よりも様々な人とかかわって楽しく遊んでいると思う」という項目で「あてはまる・どちらかというにあてはまる」と回答する割合を90%以上にする。

(カリキュラム改革関連)

○教職員は、人とかかわる力の育成につながる遊びの環境や指導の工夫に努め、自己評価の達成度を85%以上にする。

(マネジメント改革関連)

○年度末の保護者アンケートで、「言葉に関するいろいろな遊びや活動を体験する機会が多くあった」という項目「あてはまる・どちらかというにあてはまる」と回答する割合を、80%以上にする。

(カリキュラム改革関連)(グローバル化改革関連)(マネジメント改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

○年度末の保護者アンケートで、次の項目について「あてはまる・どちらかというにあてはまる」という割合を、80%以上にする。

- ・お子さんは、生命を守るためにどのように行動すればよいか関心をもつようになった。
- ・保護者の方は、防災・安全教育について関心をもつようになった。

(カリキュラム改革関連)

○今年度の保護者アンケートで、次の項目について入園・進級当初と比べて「あてはまる・どちらかというにあてはまる」という割合を、80%以上にする。

- ・お子さんは、幼稚園のきまりを守っている。
- ・あいさつをすすんでしている。
- ・幼稚園には、いろいろな思いの友達がいることを理解し、認め合おうとしている。

(カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

○保護者アンケートで、次の項目について入園・進級当初と比べて「あてはまる・どちらかというにあてはまる」という割合を、80%以上にする。

- ・手洗い・うがいの習慣が身についてきている。
- ・歯みがきの習慣が身についてきている。
- ・体を動かす遊びが好きである。
- ・食べ物(特に野菜)に関心をもつようになった。

(カリキュラム改革関連)

3 平成 28 年度の自己評価結果の総括

【学力の基礎の向上】

- ・中期目標として、「当てはまる・どちらかと言うと当てはまる」の割合を毎年 80%以上にする設定したが、毎年 80%を上回ったので、目標を達成している。
- ・しかし、「多様な人とかかわる機会が多くありましたか」「様々な人とかかわって楽しく遊んでいると思いますか」では、目標を達成したものの、H28 が前年度までのアンケート結果と比較すると「あてはまる・どちらかというにあてはまる」の割合が 1～2%減少している。このことから、楽しさを感じる、かかわる活動の充実を図っていききたい。来年度も引き続き、同年齢や異年齢の交流活動を継続して取り組んでいきたい。

【道徳心・社会性の育成】

- ・中期目標として、「当てはまる・どちらかと言うと当てはまる」の割合を毎年、前年度より向上させると設定したが、アンケート 5 項目のうち 1 項目のみ達成することができたが、4 項目は H28 のアンケートが減少していたり、毎年前年度より向上しなかった項目があった。以上のことから、目標を達成することができなかった。
- ・「命を守るためにはどのように行動すればよいか関心をもつ」では、H27 が前年度より 2%下がった。「保護者の方の意識～」についても毎年高評価が減少した。ただし、「命を守る～」の項目では、最終年度の H28 は前年度より 8%上昇し、3 年間の中で高評価の%が一番高かったことから、H28 は一定の成果が見られたと思われる。
- ・「きまり」「あいさつ」「友達を理解し、認め合う」の 3 項目では、3 項目とも H27 の高評価が前年度より下がり、毎年前年度より向上させることはできなかった。ただし、3 項目とも最終年度の H28 は 3 年間で、高評価が一番高かったことから、防災・安全教育と同様に、H28 は一定の成果が見られたと思われる。

【健康・体力の保持増進】

- ・H28 度分で分析をしたところ、5 項目中、4 項目において年度当初よりも 1%～5%の割合が増えてきた。このことから、年度当初よりも割合を増加させるという目標を達成することができた。
- ・「体を動かす遊びが好きになってきましたか」については、保護者の実感として、記述に多く見られた。

(様式2)

大阪市立西野田幼稚園 平成28年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート) ①

評価基準A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが、目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の基礎の向上】</p> <p>○毎学期の子どもへの聞き取りやチェックリストで、幼稚園の遊びの交流活動「なかよし集会 (全園児の集会遊び)」「なかよしタイム (同年齢の交流遊び)」「すくすくタイム (異年齢の遊び)」の取り組みが楽しかったという割合を、2月末には90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○保護者アンケートで、「幼稚園の遊びや生活の中で、多様な人とかかわる機会が多くあった」という項目で「あてはまる・どちらかというにあてはまる」と回答する割合を90%以上にする (カリキュラム改革関連)</p> <p>○年度末の保護者アンケートで、「お子さんは、入園・進級当初よりも様々な人とかかわって楽しく遊んでいると思う」という項目で「あてはまる・どちらかというにあてはまる」と回答する割合を90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○教職員は、人とかかわる力の育成につながる遊びの環境や指導の工夫に努め、自己評価の達成度を85%以上にする。 (マネジメント改革関連)</p> <p>○年度末の保護者アンケートで、「言葉に関するいろいろな遊びや活動を体験する機会が多くあった」という項目「あてはまる・どちらかというにあてはまる」と回答する割合を、80%以上にする。 (カリキュラム改革関連) (グローバル化改革関連) (マネジメント改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取り組みの進捗状況を図る指標	達成状況
<p>取組内容①【人間関係】</p> <p>交流活動「なかよし集会」「なかよしタイム」「すくすくタイム」の年間計画を立て、子どもの発達や興味・関心に合わせて、活動内容の充実を図り実施する。 (カリキュラム改革関連) (マネジメント改革関連)</p>	B
<p>指標 就学前教育カリキュラムとの相互性を月1回以上検証する。</p>	
<p>取組内容②【人間関係】</p> <p>「なかよし集会」「なかよしタイム」「すくすくタイム」の活動や、子どもたちの育</p>	B

ちや学びの芽を、保護者会、PTA総会、園長室だよりを通して保護者に知らせる。 (ガバナンス改革関連)		
指標 担任は、毎日の降園指導や行事の取り組みについてのお知らせを、クラス全体に知らせる工夫をする。(掲示物、タブレット等の有効利用) 園長は、PTA総会、保護者の参加する行事、園長室だより(月1回以上)の中で活動の内容や育ちを知らせる。		
取組内容③【地域との連携の推進】 公園清掃を保護者とともに実施する。(ガバナンス改革関連)		A
指標 月1回の公園清掃を実施し、江成公園通信を発行する。		
取組内容④【家庭・地域との連携の推進】 3歳児子育て支援事業「わくわくランド」未就園児子育て支援事業「おひさま広場」地域とのふれあい活動を実施する。(ガバナンス改革関連)		B
指標 「わくわくランド」を月8回以上、「おひさま広場」を月1~2回、地域とのふれあい活動を学期に1回実施する。		
取組内容⑤【保育研究を伴う園内研修の充実】 一人2回以上園内研究保育、指導要請による研究保育を実施し、指導力の向上に取り組む。(マネジメント改革関連)		A
指標 園内研究を前期・後期各1回、公開保育1回以上実施する。		
取組内容⑥【研修の充実】 体を動かしながら、人とかかわる力を深める教材研究を実践する。なかよし遊び・伝承遊び・体操・ゲーム遊びなど (マネジメント改革関連)		C
指標 月1回、一人1回以上、教材研究会を実施する。		
取組内容⑦【言語力の育成】 発達段階や興味関心に応じて、言葉に関するいろいろな体験や遊びをする。 (カリキュラム改革関連)(グローバル化改革関連)(マネジメント改革関連)		A
指標 講師を依頼し、絵本の読み語り年3回、英語に親しむ活動を年5回実施する。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
取組内容① 行事を中心として、クラスの枠を超えたかかわりが多くみられた。 なかよしタイム(同年齢のかかわり)は行事や好きな遊びを一緒にしたり挑戦する時間を通して、様々な友達と一緒に身体を動かす楽しさを感じていた。さらに、遊びをおもしろくしようと話し合いをしたり、力を合わせたりしながら遊ぶことで、達成感や充実感を共に味わっていた。劇遊びや楽器遊びを見合って、互いに興味をもったり認め合ったりする姿が見られた。 すくすくタイム(異年齢のかかわり)においては、1学期に5歳児が4歳児に幼稚園のことを教えたり手伝ったり、園外保育や園行事を一緒に楽しんだりして自然なかかわりをもつこと		

ができた。2学期になると運動会の遊びを一緒にしたり教えたりするなどしてかかわる姿が増えてきた。5歳児が一輪車や竹馬などに挑戦する姿を見て4歳児も挑戦し始める姿も多く見られるようになってきた。3学期には生活発表会で一緒に歌をうたったり遊びを考えたりするなどして、一緒につくりあげる喜びも共に感じていた。

なかよし集会（園全体のかかわり）は1学期からダンスやふれあい遊びをしていろいろなクラスの友達とかかわる楽しさを味わってきた。2学期からマラソンごっこも始め、体を動かす楽しさと共に、励まし合いかわろうとする自然な姿が見られるようになってきた。

子どもたちに実施した聞き取りでは99%以上の子どもが、なかよし集会・なかよしタイム・すくすくタイム、いずれも「楽しかった」と答えた。「すくすくタイム」「なかよしタイム」などと名称がいろいろあるが、毎活動時に名称を伝えることで子どもたちにも周知することができていた。

年度末の保護者アンケートでは「幼稚園の遊びや生活の中で、多様な人とかわる機会が多くあった」「お子さんは入園・進級当初よりも様々な人とかわって楽しく遊んでいると思う」という項目に対して、「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」（以降は高評価と記載する）という回答が99%にのぼり、子どもたちが園生活の中で人とかわる力が育ってきたことを保護者は実感しているようだった。

就学前カリキュラムにおいては、週案を考える際に知・徳・体の視点をもって教育的意図に配慮したり、就学前教育カリキュラムとの相互性を踏まえ、教育課程を検証したりしてきた。一方、園全体での共通理解が不十分なところもあったので、今後は共通理解が図れるよう改善し取り組みたい。以上のことから、保護者アンケートでは目標を達成しているものの、十分に取組めなかったことがあるので達成状況をBとする。

取組内容②

降園時の連絡について、各クラスに内容や量の違いがあるという反省から、後期に周知の仕方を改善し、全体への連絡事項とクラスの活動や子どもの姿などと掲示物を別にした。クラスの掲示物にはクラスの1日の出来事や子どもの姿、お知らせなどを書くようにしたことにより具体的に知らせることができるようになった。

行事の際には、子どもたちの姿を写真といっしょにポスターにして教育的意図や学びの芽をわかりやすく伝える工夫も行った。また遊びの中で子どもたちが考えたり気付いたりする姿を保護者に伝えることで、保護者から「遊びながら学んでいることを実感した」という言葉を聞いたりアンケートで評価してもらったりした。また、保護者会、PTA総会、園長室だよりなどでもパワーポイントや資料を活用しながら具体的に学びを知らせることができた。今後、タブレットなども活用しながら、保護者に学びをわかりやすく伝えるようにする。以上のことから、達成状況をBとする。

取組内容③

1学期から定期的にも実施することができた。2学期は落ち葉が多いこともあり、清掃の回数を増やした。雨天の場合も順延するなどした。そうじの用具をうまく使ってきれいにする気持

ちよさを感じる姿が見られた。「ごみ、こんなところに捨てたらあかんのに」「今日は落ち葉いっぱいやったな」「来た時よりもきれいになったで」などとそうじへの意欲やきれいになった気持ち良さや「いちょうの葉っぱ黄色くなってきた」と自然の変化にも気付くきっかけにもなった。

4/25 まつぐみ・ふじぐみの子どもと保護者

5/31 まつぐみ・さくらぐみの子どもと保護者

6/14 ふじぐみ・ばらぐみの子どもと保護者

7/11 さくら組の子どもと保護者

9/12 まつぐみの子どもと保護者

10/17 ばらぐみ・さくらぐみの子どもと保護者 クリーンアップ作戦

11/14 ふじぐみ・ばらぐみの子どもと保護者 クリーンアップ作戦

12/2 まつぐみ・さくらぐみの子どもと保護者

12/19 ふじぐみの子どもと保護者

1/16 ばらぐみの子どもと保護者

2/13 さくら組の子どもと保護者

3/13 ばらぐみの子どもと保護者

- ・ 江成公園通信も継続して毎月発行し、地域に幼稚園の教育活動や子どもたちの姿を知らせることができた。

以上のことから、達成状況をAとした。

取組内容④

- ・ わくわくランド、おひさま広場共に予定回数通りに実施することができた。2学期に行事では、10月運動会でかけっこに参加した。4歳児がゴールでお土産を未就園児に渡し、かかわりながら競技に参加できた。
- ・ 11月こどもてんらんかいでは、わくわくランドの子ども達も作品や絵の具遊びの絵を飾り、在園児同様にてんらんかいを楽しんだ。おひさま広場の子ども達は一般公開で参観していた。
- ・ その他の行事では、11月29日の森のつみき2月27日の絵本の読み読みの行事参加をした。
- ・ おひさま広場…計画通りに実施し園庭開放を行う。小さな子どもと保護者が安心して遊べていた。
- ・ わくわくランド…予定回数通り3学期も実施することができた。在園児と園庭で一緒に遊んだり、2月の生活発表会前には、お客さんとしてお話の世界を見たり合奏を見たりしていた。いろいろな幼稚園行事を一緒に過ごすことができた。
- ・ 地域の方との交流は、一学期に女性会の方から盆踊りを教えていただいた。

保護者アンケートでは高評価が98%となり目標を達成することができたが、地域の方との交流があまり進まなかったことから、達成状況をBとする。

取組内容⑤

- ・ 6月22日(水)研究保育(1B研究部)を行った。教材研究、保育の工夫、指導力の向上につながった。
- ・ 園内研究を計画通り実施した。

反省会では、教材や環境の工夫で学んだことや課題などを話し合い、保育に活かした。

5月	さくら	フラフープで遊ぶ
6月	まつ	プール遊びをする
7月	ふじ	砂□泥遊びをする
9月	ばら	しっぽとり
10月	保健	姿勢について
11月	さくら	転がしドッジボール
12月	まつ	おにごっこ
1月	ふじ	ミッションカード
2月	ばら	縄遊び
3月	保健	野菜を食べよう

以上のことから達成状況を A とした。

取組内容⑥

- ・なかよし遊びや体操、手作り遊具の教材研究をした。

4月	・なかよしあそび「ひつつきもつつき」 など
5月	・なかよしあそび「びったんこ」 ・くるりんスキップ、一本歯下駄 ・体操「おやつたーべよ」「どうぶつ体操」 ・曲を用いながらフラフープやくるりんスキップ、ボールで遊ぶ など
6月	・体操「かえるのみどりちゃん」 ・的あて（様々なボールの種類、子どもが理解しやすいルールなど） ・サーキット遊び 「手作りハードル」「バランスをとって歩く手作り遊具（シーソーのような外観）」「ジャンプタッチ」 など
7月	・□ール遊び「水鉄砲の的」 など
9月	4歳児
10月	・サーキットあそび（エース棒、鉄棒にぶらさがる、体をそらす遊具、石渡り、ゴムとび、クモの巣くぐりなど） ・ボール遊び（ボールをついたり、持ってダンスをしたりする） ・ジャングルぐるぐる（体操） ・玉入れ・かけっこ など
	5歳児
	・大縄跳び（青のポンポンを付けて波のイメージでくぐる） ・ぼくらは小さな海賊だ（体操） ・旗を使って遊ぶ ・縄遊び・リレー・短縄 など
	・エイヤーサー体操

	・ありがとう（体操）
11月	・どんぐりみつけたよ（体操）
12月	・おでんぐつぐつ体操 ・「白いひげのサンタさん」ふれあいあそび ・マラソンあそび
1月	・ラーメン体操 ・マラソン遊び
2月	・こすれこすれ
3月	「ハッピーバースデイカーニバル」ふれあいあそび

・9月、10月「運動会で活かせる教材の工夫」11月、12月「生活の中での活動や教材の工夫」1、2、3月は「季節や生活に応じた運動遊び」をテーマにし、子どもの実態を踏まえた教材研究を工夫した。

以上のことから達成状況をBとした。

取組内容⑦

年間を通して計画的に実施することができた。

英語で遊ぼう 5/23、6/27、10/24、12/12、2/16

絵本の読み語り 5/27、2/16、2/27

- ・英語にふれる機会をもち、楽しみながら英語に親しむ目的から「英語であそぼう」の時間を設けた。講師に来てもらい、年5回、英語の歌や絵本を楽しみながらいろいろな言語があるということに触れることができた。英語で簡単なあいさつを交わしたり、英語の歌や絵本を見ながら、英語に興味をもったりするようになった。講師がくると2回目は自分から英語であいさつする子どもの姿が見られた。10月には保護者参観も行った。
- ・絵本の読み語りは、年3回実施し、季節の絵本や発達に合わせた絵本、エプロンシアターなど工夫した教材で、いろいろな話にふれることができ、お話の世界に浸り、イメージを膨らませ、子どもの感性を豊かに育てていくことにつながった。教員も講師の絵本の読み方や、導入の仕方などを学ぶことができた。
- ・福島区の図書館からの絵本の読み聞かせにきていただいた。学年に分かれて大型絵本や紙芝居・組木などのいろいろなお話を聞かせてもらった。
- ・誕生会の先生からのプレゼントの中で、ペープサートやパネルシアターなど様々な教材を活用しお話の楽しさを感じられるようにした。
- ・年度末の保護者アンケートでは、項目「言葉に関するいろいろな遊びや活動を体験する機会が多くあった」が高評価の割合が99%あり、保護者は子どもたちの学びの芽を認識していることが読み取れた。

以上のことから、達成状況をAとする。

次年度への改善点

取組内容①

- ・引き続き、計画的に交流活動を実施して友達とかかわりあえるようにする。
- ・保護者に「なかよしタイム」「すくすくタイム」の名称を周知し、子どもたちの学びや教育的意図をもった活動の内容をさらに知ってもらう。
- ・3学期は1月：「すくすくタイム」、2月：「なかよしタイム」、3月：「なかよし集会」と特化させ、2名以上の教師で就学前カリキュラムの相互性を検証するよう努める。教師間で検証しながら園全体で教育的意図をもって子どもたちが活動できるように努める。

取組内容②

- ・引き続き、園全体の連絡とクラスでの具体的な活動を保護者に伝えられるように環境を工夫する。個人情報に気をつけながら、タブレットやポスターなどの掲示物も活用し保護者への啓発に活用する。
- ・取組内容①で検証した交流活動の事例、保育の記録や研究成果なども活用できるように努める。

取組内容③

- ・今後も引き続き年間を通じ計画通りに行い、掃除の気持ちよさや物や場所を大切にする気持ちを育てていく。
- ・江成公園通信を定期的に発行し、地域に幼稚園活動を知ってもらえるようにする。

取組内容④

- ・おひさま広場の時間帯を検討する。在園児と園庭で過ごしたり遊んだりするなど、異年齢の友達と過ごすきっかけになるようにする。

取組内容⑤

- ・研究保育の経験を生かしながら、日々の保育・体を動かす遊び・運動会などに繋げ、引き続き指導力の向上に努める。
- ・園内研究に引き続き取り組み、教員間の意見交換・指導力向上・子どもの実態把握などに努める。

取組内容⑥

- ・体操やふれあい遊びだけでなく、子どもが「体を動かしながら人とかかわる力を深める」ことを念頭に置きながら、教員同士の話し合いや教材研究を続けていく。

取組内容⑦

- ・外部の講師から学んだことを保育や教材研究に活かしていく。
- ・日常の保育の中にも英語や絵本に親しめる環境をつくっていく。

大阪市立西野田幼稚園 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）②

評価基準A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが、目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○年度末の保護者アンケートで、防災・安全教育の次の項目について「あてはまる・どちらか」としてあてはまる」という割合を、80%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お子さんは、生命を守るためにどのように行動すればよいか関心をもつようになった。 ・保護者の方は、防災・安全教育について関心をもつようになった。 <p style="text-align: center;">(カリキュラム改革関連) (ガバナンス改革関連)</p> <p>○保護者アンケートで、次の項目について入園・進級当初と比べて「あてはまる・どちらか」としてあてはまる」という割合を、80%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お子さんは、幼稚園のきまりを守っている。 ・あいさつを進んでしている。 ・幼稚園には、いろいろな思いの友達がいることを理解し、認め合おうとしている。 <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取り組みの進捗状況を図る指標	達成状況
<p>取組内容①【安全教育の推進】</p> <p>園内の安全生活についての指導の年間計画を立てて実施する。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>	A
<p>指標 年間計画の通りに実施する。</p>	
<p>取組内容②【防災・安全教育の推進】</p> <p>保護者も参加する防災・安全指導を実施し、事後アンケートを取り防災意識を高める。</p> <p>近隣機関と合同の避難訓練を実施する。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連) (ガバナンス改革関連)</p>	B
<p>指標 交通安全指導 2 回、生活安全指導 1 回、避難訓練の参観 1 回、近隣機関との合</p>	

同の避難訓練2回以上を実施する。	
取組内容③ 【道徳教育の推進】 登降園時の「あいさつ当番」活動を実施する。 (カリキュラム改革関連) (ガバナンス改革関連)	B
指標 学期に1回あいさつ週間をもつ。	
取組内容④【道徳教育の推進】 人権教育啓発推進計画において、教材を選定し指導を行う。 (カリキュラム改革関連) (ガバナンス改革関連)	B
指標 選定した人権教育教材を基に各クラスで指導の機会を学期に1回以上もつ。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容① <ul style="list-style-type: none"> ・安全教育年間計画に基づいて実施することができた。 ・1学期、5歳児は「やりかた図鑑」(学研)を見ながら交通安全について話し合いをして毎月の登降園指導に取り組んできた。 ・2学期、3学期も子どもたち、保護者に月ごとに登降園指導のねらいを知らせ、安全に登降園できた。 ・1年を通して園内、遊具の安全確認を教職員で行い子どもたちが安全、安心して遊べるよう努めてきた。大きな怪我や事故が発生することはなかった。また登降園指導にも積極的に参加し親子で安全意識をもてるようになってきた。 年度末の保護者アンケートで高評価が96%あったので目標を達成することができ、取り組みも計画通りに実施できたことから達成状況をAとした。	
取組内容② <ul style="list-style-type: none"> ・5月11日に親子交通安全教室を実施し信号の見方や横断歩道の渡り方等の指導をうけた。改めて交通ルールを親子で再確認した。 ・避難訓練を月に1回行う。 (5月・火災、6月・地震、9月・地震、10月・防犯、11月・火事、2月・火事) 非常ベルの音や放送が流れたら意識して聞くことも子どもたちの姿が見られるようになった計画的に避難訓練を実施して避難方法や、避難場所を知らせるとともに教職員間でも連携できるような時間になった。保護者にも内容を知らせたり、参加してもらったりと一緒にやることで家庭啓発ができた。 ・引き渡し訓練(9月、1月)より扱いやすい引き渡しカードに改善した。 ・当初の予定にはなかったが6/23に福島消防署によるから花火指導をしてもらった。 ・4歳児…10月福島消防署見学に行く。火事について消防の仕事を目撃でき消防の仕事に興味をもつことができた。 ・2月20日、大阪府警察署安全課の方と福島警察署の方からの防犯教室に参加した。人形劇を見たり、話を聞いたり「知らない人にはついていけない」ということを親子に啓発できた。 年度末の保護者アンケートで高評価が98%あったので目標を達成することができたが、近隣機関との合同訓練が実施できなかったこともあり、達成状況をBとした。	
取組内容③ <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ週間の年間計画を立てた。6月6～10日まで、まつ組が通用門で、登園する子どもと送迎の保護者に大きな声であいさつをした。あいさつ隊の子どもたちはたすきをつけて、他の子どもに分かるようにした。たすきをつけると、あいさつ隊としての自覚がもてたようだった。 	

- ・始めは恥ずかしそうにしていた子どもも相手からあいさつが返ってくると、少しずつ大きな声であいさつするようになった。5歳児が数名ずつ交代で行ったが、「明日は僕があいさつ隊や」と楽しみにしている声が聞こえてきた。
- ・子どもたちの元気な声に、保護者も積極的にあいさつをする方が増え、あいさつの重要性を認識した。4歳児も、5歳児に刺激を受け、元気いっぱいあいさつができる子どもが増えた。またあいさつ隊の経験がきっかけになって、門のところだけではなく、保育室でもあいさつの声がよく聞こえるようになったと感じた。
- ・2学期は、9月5日～9日(まつ)、10月24日～17日(さくら)、11月7日～11日(ふじ)、12月12日～16日(ばら)があいさつ隊になった。「おはよう」と言ってもなかなか返事が返ってこないことに気付いたり、自分たちも言えてるかなと思い返したりすることができた。また、あいさつ週間があると登園も早くなり積極的な姿が見られた。
- ・3学期は、1月16日～20日(ふじ)、2月13日～17日(まつ)、2月27日～3月3日(さくら)、3月6日～10日(ばら)の日程をあいさつ週間として実施することができた。あいさつをする楽しさや、気持ちよさなど個々に感じる思いが育ってきた。

しかし、保護者アンケートは、高評価が90%だったものの、入園・進級当初より1%低かったので、入園・進級当初より向上させるという目標を達成できなかった。しかし計画以上に取り組みを実施したことなどから、達成状況をBとする。

取組内容④

- ・年度当初、教員同士で各クラスの子どもの実態把握と、友達とのかかわり方や異年齢交流の良いところと課題、子どもたちが安定できる環境について話し合った。トラブルが起こった際には、子どもたちの気持ちを受け入れ、相手の気持ちにも気付けるように指導した。
- ・共通教材の絵本として1学期は「ちびゴリラのちびちび」「クレヨンのかくろくん」、2学期は「くれよんのかくろくん」「ごめんね ともだち」を読んだ。子どもなりに互いの違いや良さを認め合う大切さを感じとった様子が見られた。
- ・1月に観劇会の中で、すぎのこ芸術文化振興会の方に「そっくりくりのき」を全園児が鑑賞した。楽しいお話の中に命の大切さについて感じる内容だった。幼児なりにお話の登場人物の気持ちを想像し、動物や植物など命の大切する気持ちが育った。
- ・人権絵本「くすのきだんちは10かいだて」の絵本では、いろいろな立場の登場人物に気持ちを寄せ、子どもたちなりに様々な視点で見て思いを出しあった。思いを発表し合うなかで、いろいろな考え方、見方があることを感じる事ができた。
- ・「お話はじまるよ」の読み聞かせ会の中で、相手を思いやる、人権につながるような内容の話も聞いた。話を聞いている反応を見ていて、特に5歳児は相手をだますような行動はしてはいけないと善悪の判断をする力が育っていると感じた。

保護者アンケートでは、高評価が98%だったものの、入園・進級当初より1%低かったので、入園・進級当初より向上させるという目標を達成できなかった。しかし、計画通りに取り組みを実施したことなどから達成状況をBとした。

次年度への改善点

取組内容①

- ・年間計画に基づいた安全教育が実施できるよう計画的に進めていく中で、遊具の使い方や園内で の安全な過ごし方はその都度声をかけていかなければいけない。特に廊下は走らないこと、階段で遊ばないなどである。次年度はそのことをふまえて安全な環境づくりを心掛けていく必要がある。教職員間では廊下の安全な環境を整えるよう努める。

取組内容②

- ・避難訓練のねらいを職員間で共通理解し、災害時に的確に園児を誘導できるよう防災意識を高めていけるようにしたい。
- ・確実に引き渡しができるようカードの使いやすさの工夫や教師間の連携が必要と感じた。カードの順を出席順にするか、身長順にするかなど、よりスムーズにしようできる方法を考え

ていく。

- ・次年度には近隣小学校と連携をして合同避難訓練できるか調整をとり、実践できるように計画をたて、実施できるようにする。

取組内容③

- ・次年度のあいさつ週間も職員間で話し合い計画し実施していく。朝の挨拶だけでなく、その場に応じたあいさつができるよう指導していく。

取組内容④

- ・教職員の人権意識の向上についての研修を継続する。
- ・「いろいろな思いの友達がいることを理解し、認め合う」教育活動を深める。
- ・人権絵本の読み聞かせを通して、保護者にも人権教育を啓発する。

大阪市立西野田幼稚園 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）③

評価基準A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが、目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>○保護者アンケートで、次の項目について入園・進級当初と比べて「あてはまる・どちらか」としてあてはまる」という割合を、80%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがいの習慣が身についてきている。 ・歯みがきの習慣が身についてきている。 ・体を動かす遊びが好きである。 ・食べ物（特に野菜）に関心をもつようになった。 <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取り組みの進捗状況を図る指標	達成状況
<p>取組内容①【健康な生活習慣】</p> <p>手洗い、うがい、歯みがきの習慣を身につくよう指導をする。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>	A
<p>指標 歯みがき指導の年間計画を立て、実施する。</p>	
<p>取組内容②【健康な生活習慣】</p> <p>保健指導・病気やけがの防止について啓発活動・体力向上についての啓発を行う。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連) (ガバナンス改革)</p>	A
<p>指標</p> <p>「ほけんだより」を毎月1回、「ほけんだより 特別号」を年3回発行する。</p> <p style="text-align: right;">(ガバナンス改革)</p>	
<p>取組内容③【体力向上への支援】【研修の充実】</p> <p>友達と一緒に楽しく体を動かす遊びを工夫する。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連) (カリキュラム改革)</p>	A
<p>指標</p> <p>多様な体を動きを取り入れた活動を保育の中に計画する。</p>	
<p>取組内容④【食育】</p> <p>栽培活動や保健指導を通して、食べ物に興味関心をもつことができるよう取り組む。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>	A
<p>指標</p> <p>栽培活動を年2回以上実施する。</p> <p>食に関する保健指導を年3回以上実施する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

- ・手洗い、うがい、歯みがきの指導の様子を保健だよりで具体的に知らせ、家庭でも取り組めるようにしていった。保護者アンケートで食後の歯みがきを言われる前にするようになったという記述があった。
- ・1学期、なにわ歯科衛生専門学校の学生による歯みがき指導を実施した。大勢の学生が子ども一人一人に丁寧に指導をした。5歳児の歯垢染め出しでは、「染め出しカード」を作成して学生に記録をしてもらうことで、みがき残している部分が子どもにも分かりやすかった。後日カードを見て、思い出すこともできた。4歳児は歯みがき指導後に、「こうやってみがくんだよ」と子ども同士で教え合う姿が見られた。また、手洗い場に歯みがきの順番のポスターを掲示したところ、歯みがきの時「今どこをみがいているのか」「次にどこをみがいたらいいのか」など自分で確認しながらみがく姿がみられた。
- ・2学期になり、手洗い、うがいをしているが、手を濡らすだけで済ませたり、うがいもしっかりできていなかったりする姿が見られるようになってきた。感染予防に手洗い、うがいが有効であることを子どもたちや保護者にもその都度知らせ、丁寧にしている姿を認めていくようにした。12月には、花王の手洗い教室を開催し、手の汚れている部分が目で見て分かり、効果的であった。手洗い教室直後に手洗い・歯みがきカレンダーを実施したので、家庭での手洗いの意識も高まった。保健指導でも、感染症のウイルスが部屋や手に存在していることを教材を使って知らせた。普段が目に見えないウイルスも教材を活用することで、子どもたちにも分かりやすかった。外遊び後や活動ごとに進んで手洗い・うがいをする姿が見られた。
- ・5歳児に歯の名前や働き、歯の生え換わりの話をした後、一人一人の永久歯調べを行った。自分の永久歯や乳歯を知ることで、歯に関心をもつようになった。友達に「大人の歯、何本？」と聞き合ったり、登園時に「歯が抜けた～」「おめでとう！」など言い合ったり、永久歯への期待をもち、歯の生え換わりへの意識も高まった。歯みがきタイマーを手洗い場に置いたところ、タイマーが終わるまでみがく姿が増えた。
- ・学期ごとに、園の弁当後と休日に家庭で実践できるように歯みがきカレンダーを配布し取り組んだ。カレンダーが励みとなり、家庭での実践につなげることができた。

保護者アンケートでは、入園・進級当初に比べて高評価の割合を80%以上にするという目標を達成でき、取り組みも計画通りに実施したことから達成状況をAとした。

取組内容②

- ・保健指導は月ごとに実施した。4月「健康診断を受けよう」5月「手洗い・うがいをしよう」6月「歯をみがこう」7月「プール遊びをたのしくするために」「はやねはやおきをしよう」9月「1日の生活、はやねはやおきをしよう」10月「食べ物の栄養」「姿勢について考えよう」11月「ウイルスに気をつけよう」12月「かぜをひかないために」1月「はやねはやおきあさごはん」2月「野菜を食べよう」3月「体の成長」
- ・「ほけんだより」は毎月発行、ほけんだより特別号として「健康診断」「歯みがき特別号」「歯をみがく順番」「はやね・はやおき・あさごはん号」を発行した。毎月のほけんだよりには、

園での感染情報を載せ、情報発信に努めた。

- ・ウイルス性結膜炎が増えてきた時は眼科園医に、感染性胃腸炎、インフルエンザが流行した時は内科園医に相談し、その都度保護者に情報発信していき感染が拡大しないように努めた。

取組内容③

- ・1学期は子どもの実態から、様々な動きの経験ができるよう、5つの遊び場に分かれて活動できるようにした。

パカポコ・一本歯下駄で遊ぶ	バランスをとる、手と足を協応させて動かすなど
ボールで遊ぶ（的あて）	投げる、持つ、拾う、運ぶ、走る、止まるなど
好きな曲で体を動かす	リズムに合わせる、手足の曲げ伸ばし、立つ、座る、跳ねる、跳ぶなど
山を作る	掘る、運ぶなど
冒険ごっこ	歩く、止まる、渡る、ぶら下がる、跳ぶ、踏ん張る、登る、下りる、はう、滑るなど

- ・クラスや学年でも、子どもの実態に合わせてながら、友達と一緒に楽しく体を動かす遊びの工夫に努めた。

まつ（5歳児）	みんなで体を動かす時間（鬼遊び、表現遊びなど）をつくったり、挑戦する場（大縄、登り棒など）を設けたりすることで、積極的に「やってみよう」としたり、体を動かして遊ぶことに楽しさを感じたりする姿が見られ始めた。
ふじ（5歳児）	クラスで集団遊びをする時間をつくった。「色鬼」「バナナ鬼」「大縄くぐり」など、体を動かす遊びを取り入れることで、好きな遊びの時にも体を動かして遊ぶ子どもが増えた。
ばら・さくら（4歳児）	生活や遊びの中で、自然と体を動かす経験が増えるよう、また、友達と一緒にかかわりながら取り組めるようにし、様々な動きができるように体操やダンスを考えた。（ダンスの中でくるりんスキップやボール、フラフープを使うなど）また、すくすくタイムで年長児とかかわりを深め、年長児が自信をもって取り組んだり、挑戦する姿を見たりすることで、憧れの気持ちを持ち、一本歯下駄やサーキット遊び、登り棒などにチャレンジする姿があった。

- ・2学期はクラスや学年でも、子どもの実態に合わせてながら、友達と一緒に楽しく体を動かす遊びの工夫に努めた。

5歳児	運動会では、海賊になりきって大縄をくぐったり、色々な運動遊びにチャレンジしたりし、友達と協力する経験なども重ねながら、楽しく体を動かした。 ・大縄跳び（青のポンポンを付けて波のイメージでくぐる）
-----	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくらは小さな海賊だ（体操） ・縄遊び・短縄・リレー など
まつ	<p>クラスみんなで遊ぶ時間をつくり、いろいろな鬼遊びやドッジボールなど、ボールを使った遊びをしていくと、体を動かす楽しさを感じる姿が全体的に増えてきた。一輪車、竹馬、大縄、のぼり棒など、挑戦する「がんばれ！チャレンジ」の時間も、自分なりに目標をもちながら積極的に運動遊びに取り組むようになった。</p>
ふじ	<p>運動会を経験して体を動かす楽しさを味わったので、色々な遊びにも挑戦できるよう、園庭でのチャレンジタイムの時間を設けた。竹馬や一輪車、フープ、縄など友達と一緒に見せ合ったり、励ましあったりしながら遊んでいた。毎日繰り返すことで「今日は〇〇やろう」と運動遊びに意欲的になった。</p>
4歳児	<p>運動会では、ジャングルのイメージをもって体を動かして遊べるよう、サーキットやボールを用いたダンスを取り入れ、友達と楽しく体を動かすことができるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーキットあそび（エース棒、鉄棒にぶらさがる、体をそらす遊具、石渡り、ゴムとび、クモの巣くぐりなど） ・ボール遊び（ボールをついたり、持ってダンスをしたりする） ・ジャングルぐるぐる（体操）・かけっこ・玉入れ など
ば	<p>運動会から友達と一緒にダンスをしたり、体を動かしたりする楽しさを味わってきた。5歳児の競技に興味をもちはじめたので、リレーやリズムダンスなどの環境を整えることで積極的に体を動かし、目標をもって取り組もうとする姿になってきた。</p>
さ	<p>運動会を終え、友達と一緒に遊んだり、体を動かしたりすることがより楽しくなった。バナナ鬼遊びなどの簡単なルールのある遊びをする様子が見られてきた。運動会からボールを使って遊んだ経験を活かし、転がしドッジボールに取り組むと、好きな遊びの時間にも楽しんで取り組む様子が見られた。</p>

・3学期はクラスや学年でも、子どもの実態に合わせてながら、友達と一緒に楽しく体を動かす遊びの工夫に努めた。

まつ	<p>一輪車や大縄を使った縄あそびなどで2学期より継続して遊び、体を動かしていた。また、クラスでルールを共有しながら遊んだり（「さるかに合戦」）、ドッジボールやサッカー、すもうなどいろいろな体の動きを使い、意欲的に遊んだりしていた。</p>
ふじ	<p>いろいろな体の動きを経験できるようにミッションカードを作った。子どもたちにも動きがイメージしやすいように、動物のカードを作った</p>

	り、絵を描いたりすることで分かりやすく示した。また、ドッジボールやサッカーなどルールにある遊びも楽しんだ
ばら	縄に関心もてるよういろいろな物になって縄遊びをし、遊び方や楽しみ方が少しずつ少かってきた。その中で飛び縄に挑戦しようとする姿も見られるようになり、できたことを喜び、うれしさを友達や教師と味わっていた。
さくら	チャレンジタイムをし、大縄、縄、一本歯下駄、一輪車など、様々な運動遊びにチャレンジできるようにした。チャレンジしたらシールを貼るというコーナーも作り、目で見てわかるようにした。戸外遊びでは、「ぐるぐるじゃんけん」「転がしドッジボール」「バナナ鬼遊び」などの体を動かす遊びに積極的に取り組む姿があった。

保護者アンケートでは、入園・進級当初に比べて高評価を 80%以上にするという割合を達成でき、計画通りに実施できたので、達成状況を A とした。

取組内容④

- ・ 1 学期、ピーマン、ナス、トマトの中から一つ選んで親子で苗植えを行った。毎日水やりをして、花が咲いたり、実がなったりすることに関心をもち、収穫することを楽しみにする姿が見られた。収穫して持ち帰った野菜をどのようにして食べたかを知るために「やさいカード」を作成し、配布した。自分で育てた野菜なので、苦手でも食べてみたり、食べるとおいしかったりしたようだ。大事に育てた野菜を家族みんなでおいしく食べた様子も知ることができた。また、弁当に野菜が入っている時は「今日、入れてきたよ」と報告する姿が増え、関心が高まった。
- ・ 2 学期、園で栽培したサツマイモ掘りを経験することができた。収穫したサツマイモは 5 歳児が持ち帰り、家庭で食べた様子を「野菜カード」で知ることができた。子どもが今まで食べたことがなかったサツマイモを食べる姿や保護者が園でできたサツマイモが美味しくて驚いた感想などが書かれていた。5 歳児は自分で選んだ冬野菜（キャベツや水菜など）を植えた。保健指導で食べ物の栄養について知らせ、保育室に食べ物の栄養（赤・黄・緑）についての掲示をしたところ、「今日は野菜が入ってる。3つ、そろっているよ」と関心が高まった。食べ物の栄養表を食育だよりにも掲載し、家庭啓発を行った。
- ・ 3 学期、冬に収穫できる野菜について知らせた。5 歳児は園で収穫した冬野菜を持ち帰って食べたり、冬野菜を栽培しているので、関心が高く、食べる意欲も高まっているように感じた。
- ・ 食育だよりを 5 回発行（6 月、7 月、11 月、12 月、3 月）。1 学期終業式にパワーポイントで『よふかしおにとはやねちゃん』の話をし、ガイドブックを配布して夏休みの生活で早寝早起き朝ごはんの啓発を行った。

保護者アンケートでは、入園・進級当初に比べて高評価を 80%以上にするという割合を達成で

き、計画通りに実施できたので、達成状況をAとした。

次年度への改善点

取組内容①

- ・1年間を通して取り組めるような指導を実施する。

取組内容②

- ・保健指導の年間計画を見直し、指導内容を保護者にも伝えていくようにする。
- ・けがの防止について視覚教材などを使って、具体的に知らせるようにする。

取組内容③

- ・引き続き子どもの実態から、これまでの遊びや動きが発展するように努め、新たな動きを取り入れた遊びなどの工夫なども、教員同士で協力をしていく。

取組内容④

- ・子どもと一緒にできる年間の見通しをもった栽培活動に取り組む。